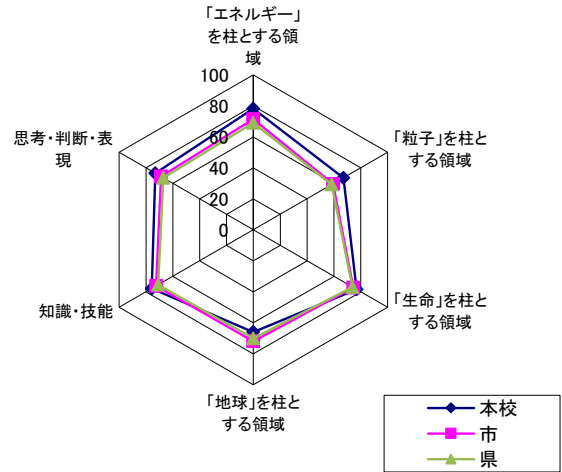


宇都宮市立桜小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	78.2	71.4	69.1
	「粒子」を柱とする領域	67.0	59.3	58.3
	「生命」を柱とする領域	76.9	74.5	73.8
	「地球」を柱とする領域	66.0	72.0	70.1
観点	知識・技能	75.7	72.5	70.9
	思考・判断・表現	73.0	68.8	67.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○どの設問も正答率が市や県を上回った。 ○「電気の通り道」の名称を答える問題では、市の平均正答率を20. 9ポイント、県の平均正答率を23. 4ポイント上回った。	・「電気の通り道」等、各自で実験や記録をし、結果を適切にまとめる学習形式を継続していく。
「粒子」を柱とする領域	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○粘土の形と重さの関係について提示された予想に沿う結果を選ぶ問題では、市の平均正答率を15ポイント、県の平均正答率も15ポイント上回った。	・今後も体験活動の時間を確保することや、実験結果について考察し、まとめ、振り返る活動をしっかり行うことを重視した取り組みを継続していく。
「生命」を柱とする領域	平均正答率は、市や県の平均より高い。 ○モンシロチョウとトンボの育ち方を比較して差異を答える問題では、市の平均正答率を11. 2ポイント、県の平均正答率を11. 3ポイント上回った。	・今後も体験活動の時間を確保することや、実験結果について考察し、まとめ、振り返る活動をしっかり行うことを重視した取り組みを継続していく。
「地球」を柱とする領域	平均正答率は、市や県の平均より低い。 ○方位磁針の正しい使い方を選ぶ問題では、市の平均正答率を4. 3ポイント、県の平均正答率を6. 3ポイント上回った。 ●温度計の正しい使い方を選ぶ問題では、市の平均正答率を13. 8ポイント、県の平均正答率を12. 7ポイント下回った。 ●太陽と日陰の位置関係と、日陰ができる方角の組み合わせを選ぶ問題では、市の平均正答率を7. 3ポイント、県の平均正答率を5. 8ポイント下回った。	・学校生活のあらゆる場面で、温度計を使う活動を取り入れたり、太陽と影の位置を意識できるような働きかけなどを行ったりしながら、定着を図る。 ・もう一度、正しい温度計の使い方を復習し、日常生活の中で使えるように指導する。